

参院選と安倍政権の行方

朝日新聞特別編集委員

星 ほし

星 ひろし

- * 世界はこの10年で様変わり
- * 三本目の矢は構造改革
- * 待ったなしの財政再建
- * 自公過半数でねじれ解消
- * 改憲勢力の3分の2確保は困難
- * ミスジャッジだった石原氏との連携
- * 投票間際に情勢が一変することも
- * マーケットが注視する改革の成否
- * パワーがなくなった日本の政治家
- * 「習近平中国」とどうつき合うか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は朝日新聞の星さんにおいていただきました。特にご紹介の必要はないと思います。

参院選の公示があります、いよいよ選挙戦に入りました。ちよいどいいタイミングでこの選挙をどう見るか。自民党が勝つでしょうけれども、それだけでこの先すべてがよくなるわけではないわけで、どんな勝ち方をするのか、これから自民党の中はどうなっていくのか。また、健全な野党が今いなくなっているような状況で、各党はこれからどうしていくのか。その辺りも含めて、今日は星さんにいろいろ教えていただきたいと思います。（拍手）

星 皆さんこんにちは。よろしくお願ひします。

毎年夏のこの時期にお招きいただきまして、その後しばらくたってから講演録の原稿が送られてきました、少し手直しをして皆さんのところにお届けするというシステムになっております。しゃべった後、かなり間違ったりして修正しなくてはいけないこともあります、今回は大丈夫そうかなと思っております。

7月のどこかの週の金曜日にお願ひしたいというので、なるべく早目にしました。7月21日投票日ですので、19日あたりに講演をすると、「おとといの話と全然違う結果になったな」となっても困るので少し早目に設定させていただきました。

まず今度の選挙の最大の争点であるアベノミクスのお話をいたします。それから、選挙は自民